

JABIL

ジェイビルとモレックス コラボレーションの文化が、 激動の時代に前例のない 顧客価値を創造する

COVID-19中における救命用人工呼吸器の
生産を促進するためのアジリティ、
イノベーション、コラボレーション速度

課題

- 新型コロナウイルス対応のための、救命人工呼吸器の緊急生産
- 自動車、ヘルスケア、5Gに求められる最新のコネクティビティソリューション
- お客様のアウトカムを向上させるために必要とされた、トップサプライヤーとの早期連携

ソリューション

- モレックスは、新しい設計部品を採用した人工呼吸器のコンポーネントの生産を優先させました
- モレックスは、ジェイビルのEarly Access Partnership (EAP) に加わり、お客様への機会提供を加速させました
- モレックスのグローバル拠点と技術投資は、主要な市場全体をカバーしています

メリット

- モレックスは6日間で2万個の人工呼吸器を生産し、その1週間後には必要とされた16,000個を納品しました
- 早期の製品設計提携により、サプライチェーンを拡大し、製造効率を高めながら、お客様が抱える問題を解決しました
- 両社のお客様、技術、投資、企業文化は強力な一致を示し、両社の成長は加速しました



「私たちは、自分たちが作っている製品が人々の命を救い、変化をもたらすことができるという事実を本当に大切にしていました。私たちがモレックスに連絡を取ると、彼らは光の速さで反応してくれました。」

フランク・マッケイ
ジェイビル社 SVP兼最高調達責任者

2020年春に始まった新型コロナウイルスの世界的大流行は、あらゆる業界や分野で大きな混乱を引き起こし、医療機器、診断機器、消耗品、医療従事者用保護具メーカーは大きな負担を強いられました。世界的な工場の操業停止や、従業員の健康と安全の確保という緊急の課題に直面しながらも、世界的なメーカーとそのサプライパートナーは、イノベーションとコラボレーションを通じて問題解決に向けた前例のない動きを見せています。

ジェイビルは、弾力性と機敏さが特に必要とされるパンデミック時に、非常に大きな努力をしたことが際立っています。同社は、従業員の健康と安全を最優先にしながら、顧客の成果を継続的に提供しました。信頼できるパートナーからの支援により、ジェイビルはヘルスケア関連製品の重要な製造需要にスピードと緊急性をもって対応しました。

ジェイビル社のSVP兼最高調達責任者であるフランク・マッケイ氏は、「私たちは、自分たちが製造している製品が人々の命を救い、変化をもたらすという事実を本当に大切にしていました」と説明します。「私たちがモレックスに連絡を取ると、光の速さで対応してくれました。」



関係性が大切

COVID-19でのジェイビルとモレックスのシームレスな連携が、25年にわたる実績によって支えられていたことは、驚くにはあたらない。「歴史は買えません」と、マッケイは付け加えます。「私たちには、長い歴史があり、成功例があります。」

ジェイビルは、地球上で最も信頼され、技術的に高度な製造ソリューションプロバイダーとなるべく、製造と市場の課題を克服し続けています。ジェイビルは、450を超える世界の一流ブランドをはじめとするグローバルな顧客のために、サプライチェーンソリューションとサプライヤーとの戦略的な関係を通じて、マクロ経済の影響、ビジネスモデルの変化、製品開発サイクルの短縮を乗り越えてきました。

モレックスは、先進的なコネクティビティソリューションの主要な開発・供給業者として、自動車、5G、データセンター、ヘルスケアなど、ジェイビルの急成長する市場セグメントでますます大きな役割を担っています。「モレックスとジェイビルはアジャイルであることに重点を置いています」と、モレックスのSVP兼セールス & マーケティング担当グローバルプレジデントであるスコット・ウィッカーは述べています。「私たちの関係は、オープンなコミュニケーション、透明性、尊敬によって築かれています。」

最先端のコネクティビティソリューションは、ジェイビルの多くの顧客セグメントで浸透しており、それが長年の関係を強化し続けているのです。特に、パンデミック時の世界的な市場の変化により、より大きな接続性、パワー、メモリ容量への飽くなきニーズが生まれました。「両社が成長市場に対応する機会は無限にあります」と、マッケイ氏は述べています。「ジェイビルとモレックスの両社は、グローバルな事業展開と戦略的な投資により、今後、両社の市場に極めて有利な立場にあります。」



イノベーションを加速させる

モレックスとジェイビルは、変動する市場の需要や進化する顧客の期待を見越して、技術投資とロードマップ戦略を調整しています。ジェイビルの総合的なサプライチェーン オークストレーションの一環として、サプライヤー関係管理および商品管理チームは、モレックスのようなサプライヤーと手を携えて、差別化され多様化した製品やソリューションの十分な供給能力を確保します。

ジェイビル社のグローバル調達担当バイスプレジデントであるグラハム・スコット氏は、「私たちは、共にサービスを提供する市場や顧客に最大の影響力とインパクトを与えるサプライヤーを探しています」と断言します。「最も適しているのは、同じようなビジョンと戦略を持つ企業です。モレックスは、私たちが新しい市場や顧客を開拓する際に多様化を支援し、共に繁栄することができるのです。」

molex

ケーススタディ

最上級のサプライヤーを特定するために、ジェイビルは会社の歴史、財務予測、ビジネス目標に基づいたサプライバリューマッピングを使用します。そして、サプライヤーの関係管理チームは、これらトップクラスの企業と面談し、相互の価値を高めるための共同開発アカウント開発計画を作成します。戦略的サプライヤーの候補は、技術革新と投資のベース、グローバルに事業を拡大する能力で評価されます。共同開発された計画は、それぞれの企業の優先順位を導くための、合意された目標と戦略のプレイブックとなります。

「私たちが知識を共有し、協力することで、モレックスがジェイビルに提供できる最高のソリューションを実現するための課題に取り組むことができます」とウィッカーは言います。「私たちが開発するすべての製品やソリューションのイノベーションを加速させることができるのです。四半期ごとに行われるビジネスレビューでは、各組織が技術ロードマップ、顧客フォーカスエリア、Go-to-Marketの必須事項において密接に連携していることを確認しています。

「最も適しているのは、同じようなビジョンと戦略を持つ企業です。モレックスは、私たちが新しい市場や顧客を開拓する際に多様化を支援し、共に繁栄することができるのです。

グラハム・スコット
ジェイビル社グローバル調達担当
バイスプレジデント



チャンスへの 早期アクセス

両社の密接な関係の証として、ジェイビルはモレックスに、2020年に開始されたEarly Access Partnership (EAP) への参加を要請しました。ジェイビルのEAPは、エンジニアリングチーム間のコラボレーションと創



造性を促進するために設計されており、戦略的なワーキングセッション、バーチャル会議、その他の共同活動を通じて、各パートナーの技術の方向性とビジネスゴールを調整します。その目的は、ビジネスチャンスへの早期参入を促進し、異なる技術を相互の顧客や将来の顧客のために最適化することです。

「モレックスをジェイビル EAPに採用するのは簡単な決断でした」と、スコットは言います。「私たちのエンジニアリング組織には多くの相乗効果があり、特定の市場やそれぞれの市場で必要とされる技術に関して、ジェイビルが目指す方向と一致しています。」

ジェイビル EAPにより、モレックスのエンジニアは、製品設計プロセスにおいてジェイビルの技術エキスパートと容易に関わることができるようになりました。さらに、ジェイビルのエンジニアは、モレックスの製品開発の視野にある新しいコネクティビティソリューションについて、より多くの内容を学んでいます。両社は、相互の利益のためにビジネスチャンスへの早期アクセスを活用できるユニークな立場にあるのです。

ウィッカーは、「単なるサプライヤーとしてではなく、設計を共同で行うことから始まります」と述べています。「私たちは、お客様のニーズを解決するために、さまざまな状況を経験し、ジェイビル社のプロセスに適合させ、製品開発サイクルをより効率的にすることに貢献してきました。



パンデミックへの 迅速な対応

モレックスとジェイビルは、COVID-19による大規模な混乱に備えることはできませんでしたが、数十年にわたる協力関係により、両社は迅速かつ効率的に回復することができました。3月には、世界中の工場の操業が突然停止し、従業員は外出制限により在宅勤務に追い込まれました。あらゆる業界のお客様が、サプライチェーンの中断から製造の大幅な遅れ、市場投入の遅れまで、さまざまな問題に直面しました。

ジェイビルとモレックスがこの未知の領域を踏み入れるに伴い、両社が施設閉鎖の影響とサプライチェーン中断の重大さを理解していることが明らかになりました。統合チームはリスクを評価し、代替材料や工場再開後の迅速な製造など、緊急時対応計画を策定しました。

ヘルスケアおよび医療機器分野では、特に、救命具や個人用保護具に対する需要の高まりへの対応を加速させました。例えば、モレックスは、ジェイビル社を支援し人工呼吸器メーカーの大幅な生産量増加に対応する一方、旧製品の部品に対する切実なニーズにも対応しました。

モレックスは、迅速な対応で材料の代替供給元を確保し、エンジニアリング能力を駆使して最新技術の中から新しい部品を特定しました。「モレックスは非常に迅速に対応してくれました。「モレックスは、施設が再稼働すると、私たちに優先権を与え、同時に人工呼吸

molex



「モレックスとジェイビルは、機敏であることに重点を置いています。私たちの関係は、オープンなコミュニケーション、透明性、尊敬の念によって築かれています。」

スコット・ウィッカー
モレックスのSVP兼セールス &
マーケティング担当グローバルプレジデント

器を製造するために必要な部品を提供してくれました。」

その結果、モレックスは、年間約2,000個の部品が発注されていた人工呼吸器の部品生産を、わずか6日間で20,000個に大幅に拡大しました。その1週間後、モレックスはさらに16,000個の部品を納入し、この極めて重要な製品の製造をサポートしました。「モレックスのチームの前例のない緊急性の高いスピードには、感謝してもしきれません」と、マッケイは言います。「彼らは、私たちと顧客に、可能な限り迅速かつ効率的にニーズを満たすことができるという確信を与える方法で対応しました。」



コラボレーション文化

ジェイビルとモレックスの関係の中核には、両組織のあらゆるレベルで共鳴するコラボレーション文化があります。顧客と従業員に対する相互のコミットメントは、米国中西部のルーツによって強化され、それが各社のコアバリューと市場開拓の哲学に影響を与えています。「ジェイビルとモレックスは、明確で真の北極星（目標）を掲げています」とマッケイは言います。「それは、私たちが共有するDNAと文化の一部であり、C-Suiteの関与にまで及んでいます。私たちは信頼できる関係を築いています。」

文化面での相乗効果によって、各組織は共通の目標を共有することもできます。「ジェイビル社との協業で最も気に入っているのは、パートナーシップが双方向に作用することを理解している点です」と、ウィッカーは指摘します。「すべてのプロジェクトで、最終顧客に価値をもたらす相互利益を見出したいと思っています。」

このようなチームワークを実践した最近の例として、ジェイビルとモレックスは、リードタイムを短縮するためにコネクタケーブルの設計を見直したことが挙げられます。「私たちは、いくつかの部品を交換することで、より速く処理できるようになりました」とウィッカーは付け加えます。「その結果、ジェイビル社はより早くそれを業務に導入することができ、より優れたソリューションをより短時間で実現することができました。」

ジェイビルとモレックスは、適切な時期に適切な投資を行うことで、両社の成功をより強固なものにしています。「私たちはこれからもお互いを高め合い、お客様にとってより良い存在であり続けたいと思います」と、マッケイは締めくくります。「私たちは、大規模な混乱とグローバルな貿易の課題に対処しています。私たちは、大規模な混乱と世界的な貿易の課題に対処しています。これらすべてをまとめると、人、プロセス、技術の正しい連携に行き着くのです。ジェイビルとモレックスは、現在そして将来にわたって、協力して素晴らしい仕事を続けるでしょう。」

ジェイビルについて

ジェイビル (NYSE: JBL) は、包括的な設計、製造、サプライチェーン、製品管理サービスを提供する製造ソリューションプロバイダーです。ジェイビルは、世界中の戦略的に配置された100の施設で20万人以上の力を活用し、複雑さを簡素化し、革新、成長、および顧客の成功を可能にする幅広い業界で価値を提供しています。詳細については、jabil.comをご覧ください。

モレックスについて

モレックスは、未来を変え、生活を向上させるテクノロジーを実現することで、つながる世界を実現します。40か国以上で事業を展開するモレックスは、データ通信、医療、産業、自動車、家電などの市場向けに、あらゆる種類の接続製品、サービス、ソリューションを提供しています。詳細については、www.molex.comをご覧ください。

www.molex.com

molex

モレックスは、米国におけるMolex, LLCの登録商標であり、その他の国でも登録されている場合があります。ここに記載されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。

注文番号987652-3381

SGP/0k/SF/2021.01

©2021 Molex